

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

総件数 26件

(内訳)

No.1	総合コールセンター事業(行政手続のデジタル化事業)	…4件
No.2	がん患者ウィッグ等購入助成事業費	…4件
No.3	プロスポーツチーム誘致事業費	…8件
No.4	北大谷霊園合葬墓設置事業	…4件
No.5	工事請負契約の締結についてー近鉄四日市駅周辺(四日市中央線)整備工事(その17)ー	…6件

今回ご意見をいただいた人数 8人
5件の議案にご意見をいただいた方：4人
4件の議案にご意見をいただいた方：0人
3件の議案にご意見をいただいた方：0人
2件の議案にご意見をいただいた方：0人
1件の議案にご意見をいただいた方：4人

内訳：10歳代	0人
20歳代	1人
30歳代	1人
40歳代	2人
50歳代	0人
60歳代	4人
70歳以上	0人
不明	0人

※意見募集をした議案に直接関係のないご意見は省略しています

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.1	総合コールセンター事業(行政手続のデジタル化事業)
総務 常任 委員会	1	四日市市民への利便性を高めるものであり、大いに賛成したい。
	2	コンセプトは賛成。コールセンターの人数が未記載なため、適切な予算か判断出来ない。また、市役所の業務はたらい回しにされるケースが多いため、問い合わせを各部署へ転送する際、たらい回しにならないように設計して欲しい。
	3	<p>行政手続のデジタル化やFAQ整備により、市民が自己解決できる環境を整備する取り組みは評価できます。特に職員の問い合わせ対応時間の削減と、相談業務の質向上を両立しようとする点は重要だと感じます。</p> <p>一方で、導入後の効果検証(問い合わせ件数の減少、解決率、満足度など)をどのように測定するのかが明確ではありません。また、デジタルで問い合わせでも最終的に営業時間内の問い合わせに誘導されるだけでは、市民の利便性向上につながらない可能性があります。FAQ・チャットボット・コールセンターが連携し、可能な限りワンストップで解決できる仕組みとして運用されることを期待します。</p> <p>さらに、高齢者などデジタル利用に不慣れな市民への対応についても重要ですが、同時にデジタル手続の利用促進に向けた支援や啓発も必要ではないでしょうか。利便性の高い手段が整備されても利用が進まなければ効果が限定的となるため、デジタル活用を後押しする取り組みも検討していただきたいです。コールセンター委託費や長期の債務負担行為が発生するため、費用対効果を継続的に検証する仕組みを整備していただきたいと考えます。</p>
	4	デジタル化推進と職員の働き方改革の両立を図る有意義な取り組みです。

2月定例月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.2	がん患者ウィッグ等購入助成事業費
教育民生常任委員会	1	<p>必要性としては大いに感じます。ただ、助成金額・回数 が購入費用の2/3(上限2万円)、生涯1回はがん患者にとって十分だろうかとの思料します。がん患者さんからはヒアリングなどしてこのような助成事業で良いかどうか確認しているのでしょうか。</p>
	2	<p>特に異論はない。</p>
	3	<p>がん患者の外見変化に伴う心理的・経済的負担を軽減する取り組みとして、本事業は非常に意義があると感じます。日本では生涯で2人に1人が、がんになるとも言われており、誰にとっても身近な課題だと思います。</p> <p>一方で、助成額が上限2万円、生涯1回という条件が実態に対して十分かどうかについては、今後の検証が必要ではないでしょうか。がん治療を複数回経験される方もいらっしゃいますし、治療中であっても自分らしく過ごしたいという思いは大切だと思います。ウィッグや補正具は治療状況に応じて複数回購入が必要になる場合もあるため、利用状況やニーズを把握しながら制度改善を検討していただきたいです。また、制度の周知方法についても具体的に示していただけると安心です。治療開始時など必要なタイミングで、医療機関から患者へ情報が届く仕組みがあることが重要だと感じます。</p> <p>さらに、本制度を単なる助成にとどめず、治療と生活を両立しやすい地域としての支援情報の発信や、地域とのつながりを感じられる取り組みへと発展していくことを期待します。がん患者やその家族にとって、四日市が安心して生活できる地域として認識されることにつながれば望ましいと考えます。</p>
	4	<p>患者のQOL向上に直結し、県との費用分担も適切です。</p>

2月定例会月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.3	プロスポーツチーム誘致事業費
産業生活常任委員会	1	<p>四日市市がホームタウン包括連携協定を締結するヴィアティン三重バレーボールが、国内最高峰のリーグであるSVリーグへの参入を表明したことにより、ヴィアティン三重バレーボールがホームチームとして根付いてもらえるのなら大いに賛成したい。プロ野球中日ドラゴンズがファーム拠点移転先を公募する発表を行ったからと言って、競合相手もいることから、中日ドラゴンズは敬遠しても良いのではないかと。</p>
	2	<p>少子化が進み子供達のスポーツ離れが進んできている四日市市に置いて、プロスポーツチームの拠点誘致は願ってもいないチャンスだと思います。プロスポーツ選手の活動や生活を間近に見る機会が増えることは、きっと子供たちがスポーツに興味を持ちスポーツを行うきっかけになると思われます。現在、四日市市には女子ラグビーチームがありますが、マイナースポーツの為に市民の関心は今一つだと思います。日本で一番のメジャースポーツであるプロ野球の2軍本拠地が誘致できると経済効果も非常に大きいと思われる市の活性化に繋がると思われます。プロ野球2軍公式戦を数年開催している実績を多くに生かし、誘致実現に向けて積極的に活動して頂きたいと思っております。</p>
	3	<p>目的は理解出来なくはないが、プロスポーツチームの誘致が目的を達成する手段として妥当か再検討が必要。一例として挙げられているドラゴンズを誘致可能な球場が既にあれば賛成だが、新たに作るのであれば反対。</p>
	4	<p>当該競技に関心を持つ方にとっては、良いかもしれませんが、他の競技をしている者からすれば、プロスポーツチームを誘致することによって、スポーツ施設の専用使用が優先されることが予想され、地元のスポーツ団体の利用は制限されます。また、主催ゲームがあれば、駐車場があふれかえることとなります。今でも土曜日、日曜日は、駐車場で身動きが取れません。プロスポーツチームを誘致するよりも、地元のスポーツ団体が使用しやすいような利用に力を尽くしていただきたいと思っております。</p>
	5	<p>経済波及効果や地域活性化の観点から、プロスポーツチーム誘致の検討を行うこと自体は理解できます。しかし、市民生活に直結する福祉やインフラ整備との優先順位については慎重な検討が必要だと感じます。誘致に伴う施設改修費や継続的な財政負担の見込みについて、市民に分かりやすく説明していただきたいです。また、誘致による具体的なメリット(雇用、観光、税収など)を定量的に示していただくことを期待します。そのうえで、市民がプロスポーツを身近に感じられる仕組みづくりも重要ではないでしょうか。例えば、四日市市民が地元チームのホームゲームを割引価格で観戦できる制度や、市民参加型の応援・支援の仕組みなどがあれば、地域との一体感が生まれると感じます。誘致が地域の誇りや市民の楽しみにつながる形で進められることを期待します。</p>
	6	<p>施設を有効活用する施策として良いと思っております。(使わなくても維持費がかかる)委託内容の経済波及効果・費用の試算などは必要です。委託先の選定が問題で、そこがどれくらいの正確度合で予測値を提出するかを過去の結果をみて決めていただきたい。予測の試算のため、誘致をする前提での数値算出になりやすい。例えば、新しい道路を造る時に交通量はこれ位になると想定するが、実際に完成後の調査では随分と少なく予想値との乖離が大きい場合が見受けられる。費用面では施設の事前改修、運営費用、施設の復旧・保全修繕など、最初から最後まで経費を試算していただきたい。当然のことですが物価および人件費の高騰も考慮した費用算出にしてもらいたい。</p>
	7	<p>内外共にスポーツ熱が盛り上がっている現状ですが、東海3県で宿泊者数が最小であり、その打開策となるかもしれませんが期待できません。人口減少・空き家増加・高齢化・魅力のない街など、これらの原因を考慮すべきであり、今話題の中日ドラゴンズの2軍候補地とのことですが、有力として霞ヶ浦のグラウンドを使用すると思っておりますが、県内の高校野球を最優先すべきです。また、周辺地区も人口減少・高齢化等々期待できません。</p>
	8	<p>経済波及効果の事前調査を行う堅実な姿勢を評価しますが、長期的財政負担の透明な説明を求めます。</p>

2月定例会月議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.4	北大谷霊園合葬墓設置事業
都市・環境常任委員会	1	<p>対象者(案)の次の条件をいずれも満たす市民として、①高齢福祉課による終活情報登録事業に登録し、かつ本市が整備する合葬墓への埋葬を希望する旨に登録した市民、②所得、資産に関する要件を満たす市民・月収18万円以下であること・預貯金が220万円以下であること・所有する固定資産の評価額が500万円以下であることとなっているが、私もいわゆる「おひとりさま」で、あえて親族がいても頼りたくなく、所得や資産に関する要件も現状3要件を上回っています。私にとってはハードルが高いものです。</p> <p>よって、①の高齢福祉課による終活情報登録事業に登録する際には、保証人ではなく、高齢福祉課に所定の預託金を積み、死後事務委任契約を交わすことで保証人不要としていただきたい。②の所得、資産に関する要件を満たす市民についても条件をある程度緩和していただきたい。</p>
	2	<p>賛成。対象者②所得、資産に関する要件を満たす市民の条件は厳しいのではないかと。墓じまいが進む昨今において、今後も墓を建てる人が増えるとは思えない。合葬墓のニーズが求められる場合に備え、もっと大規模なものにしても良いのではないかと。</p>
	3	<p>少子高齢化や単身世帯の増加を背景に、合葬墓の整備を検討する趣旨は理解できます。</p> <p>一方で、現在は民間や宗教法人等による合葬墓や永代供養墓の整備も進んでおり、公的事業として設置する必要性については慎重な検討が必要ではないでしょうか。民間施設との役割分担や、市が整備する意義について、より具体的な説明を求めます。また、宗教団体等との調整が記載されていることから、事業の検討過程や意思決定の透明性についても十分に確保されていることを市民に分かりやすく示していただきたいです。利用見込みや将来的な維持管理費、運用方法についても情報提供をお願いしたいと思います。市民の多様な価値観に配慮しながら、本事業の必要性を丁寧に検討していただくことを期待します。</p>
	4	<p>少子高齢化社会における終活支援として重要ですが、対象要件の妥当性について継続的な見直しを望みます。</p>

2月定例会議会における議案に対する意見募集に寄せられた意見

	No.5	工事請負契約の締結について－近鉄四日市駅周辺(四日市中央線)整備工事(その17)－
都市・環境常任委員会	1	いつまで続けるつもりなのか早く全体の事業を終わらせていただきたい。
	2	あすなろう鉄道の利用者が不便を被らないようにお願いしたい。(今ある連絡通路のようなものがあればそれでいい) また、近鉄四日市駅周辺をどのようなデザインで構築するにしても「こういう理由でこういったデザインにしました。」と明確な理由が述べられるような造りであることが望ましい。(利便性、防犯、費用の節約など、市民の税が使われていることをお忘れなきように)
	3	既にデッキは完成しているが、階段を作る工事だろうが、全くこの資料だけでは、どのような工事がイメージ出来ない。事務局に問い合わせても、「この資料しか無く、詳しいことを教えることは出来ない」と聞いたが、私のように土木の知識が無い人間にもわかるように、せめてパース図を添付して欲しい。
	4	近鉄四日市駅周辺整備については、中心市街地の活性化や交通機能の向上を目的とした重要な事業であることは理解できます。 一方で、現在「中央通り再編事業」全体として、何が整備される予定で、どこまで進んでおり、何がこれから整備されるのかが市民には分かりにくいと感じます。今回の円弧デッキ整備についても、事業全体の中での位置づけが十分に見えないため、必要性や優先順位を判断しにくい状況です。バスタ四日市や駅前広場整備など関連事業を含め、全体像・進捗状況・総事業費・完成後の利用イメージなどを、市民に分かりやすく示していただきたいと思います。また、2027年のバスタ四日市完成予定に合わせるために、工事スケジュールや契約手続きが無理のある形になっていないかについても丁寧な説明を求めます。駅周辺整備が市民にとって利便性の向上やにぎわいの創出につながるものとなるよう、透明性の高い情報提供を期待します。
	5	JR四日市駅から、近鉄四日市駅周辺まで簡単な雨除けのアーケードがあれば、便利になるのではないかと。なぜなら、よくJR四日市駅から近鉄四日市駅まで傘を利用しているため。
	6	中心市街地活性化に資するものの、約7億8千万円の大型契約であり、工事の進捗と費用対効果の丁寧な情報公開を求めます。